



## 七夕まつり

中国から伝わった織姫と彦星の「星伝説」と、書道や裁縫の上達を願う風習「乞巧奠」に、日本の「棚機女」が神様のために着物を織る神事が合わさって、今日に伝えられている行事です。今年の7月7日は、織姫と彦星が無事に会えるでしょうか。夜空を見上げ天の川を探しましょう。

## ぷーるあそび



夏の楽しみは、なんとといっても子どもたちの心を開放し、楽しい気持ちにさせてくれるプールあそびです。今年は新型コロナウイルス感染予防のため、いつものようにたっぷりお水をためて、毎日するわけにはいきません。プールの消毒や、手洗い、プールに入る人数も制限しながら、細心の注意は払いながら行っていきます。お子様の体調が悪い場合はご遠慮いただければと思いますのでご理解のほどよろしくお願い致します。



以下のようなことが見られる時は、プールに入れませんので、ご注意ください。

- ・目、鼻、耳に疾患のある場合（結膜炎、中耳炎などですが、慢性の中耳炎などは医師の診断を仰いでください。）
- ・伝染性疾患の場合（とびひなど）
- ・発熱、下痢、風邪やうみを持った外傷、その他医師から禁止されている場合。



## 令和2年 7月の園だより



くまの・みらい保育園

### 対話が心を育て、やる気を育てる

6月から自粛が解除され、子どもたちのにぎやかな声が保育園にもどってきました。子どもたちの大好きな場所はやっぱりピオトープ！でもピオトープで先日、事件が起こりました。カエルを強く握ってしまいカエルが死んでしまったのです。命の大切さについて朝礼で子どもたちと考えたところです。

「カエルはやさしくもつんだよね」、「つかまえたら、後でピオトープに返してあげる」、など子どもたちから声が出たことはとても嬉しかったです。わかっているけれど、思わず力が入ってしまったり、独り占めしようとして、扱いが雑になってしまったりしてしまっているのです。失敗の経験も大切です。たった一つしかない小さな命がなくなってしまった時にはどうしていけなかったのか、どうしたら良いか一緒に考えながら話していきたいと思いますが、すぐに変わるわけではありません。命のことだけでなく、おもちゃの取り扱いなど、様々なことが起きますが、園では、それぞれの年齢に合わせて、繰り返し、繰り返し、わかりやすい言葉でどうしたらよかったのか伝えていくようにしています。その時、大人の思いを伝えるのではなく、子どもの思いをしっかりと聞いて、一緒に考えることを大切にしています。ご家庭の方でも、どうしてそんなことしてしまったのだろうと悩まれるような出来事があったとき、一呼吸して、一方的に叱るのではなく、話を聞いてあげて下さい。大好きな保護者の方に聞いてもらい、一緒に考えていくことが、子どもの心を育てていくのです。その繰り返しは聞く力（人の話を要約してつかむ力）、子どもの意欲につながります。保護者の皆様と一緒に、子どもとの対話を大切にしながら、心や言葉も育てていければと思います。

先日、日頃より造形活動でお世話になっている、とこ先生と一緒に作った、竹のアスレチックを園庭

の真ん中に出しました。以前から遊びたくて、わくわくした気持ちで見ていた子どもたちです。どうやって遊ぶのだろうと私たちも楽しみにしていました。

最初は一段登っていつもと違う景色に、大満足をしていましたが、今度は次の段に登りたくなったようでした。でも次の段は結構高く、足が届かず、「こわい」と思う子は下に降りたり、「せんせ〜い、来て〜」、と助けを求め、違う遊び方にまわっている子もいました。無理にはさせませんし、手伝うこともせず、子どもの反応や様子を見守っていました。怖いと思うと進めなくなりますが、やってみたい気持ちもあり、年中児の Y 君は心の中で葛藤しているようでした。保育士はその葛藤の様子を心の中で「頑張れ、もうちょっと！」と応援しているのです。他にも、ぶら下がったり、うんていみたいに渡ったり、鉄棒のように前周りをする子もおり、それぞれが自分であそびを考え工夫して楽しんでいました。「先生、昨日はできなかったけど、今日はできた！」と、年少児の M ちゃんは自分のやりたかったことが出来、笑顔で教えてくれました。考えたり、体を使って試したり、順番を守ったり、様々な力が育っているなど感じています。一番最初にてっぺんまで上がったのは年中児の Y くんでした。「先生、やった〜！！」と、ピースサインを見せてくれました。なかなか勇気が出せなくて、諦めてしまうこともありますが、それを乗り越える瞬間も見ることが出来るのです。出来なくてもやってみよう！と粘り強く挑戦する姿を見て、私たち大人も気づかされるのがたくさんあります。子どもの気持ちに寄り添う言葉をしっかりかけ、返ってくる子どもの言葉にも丁寧に応えて、心も身体も育てるあそびを今後も続けていきます。

くまの・みらい保育園 園長



## お泊り保育

似島臨海少年自然の家で年長組さんは、日出みみょうさんと一緒にお泊り保育を楽しみます。芝滑りや自然の探索、展望台への山登り、大自然の中で体をしっかり使って楽しめます。

夜は、キャンプファイヤーをしたり、花火を見て楽しく過ごした後は、大きなお風呂に入ってぐっすり眠りにつきます。普段とは全く違う環境の中で、みんなで協力し合う貴重な経験をたくさんして欲しいと思います。しかし、新型コロナウイルスの感染者が一人でも出た場合は中止にしますのでご了承ください。

## あそびは続くよどこまでも

### <竹のアスレチック>



できたよ〜!

どうやったらできたの?



ここに足をかけたら、のぼれるかな?

## お願い

最近、かばんにたくさんキーホルダーをつけてくるお子さんが増えてきました。お友だちのキーホルダーが気になって触ったりする子もいます。また先日より、キーホルダーが壊れ、金属の部品や小さなマスコットが廊下や階段に落ちていたりもしています。もし、小さいお友だちの口に入ったらと思うと恐ろしくなります。

キーホルダー類は園のかばんには付けないようにしてください。よろしくお願い致します。